

1. 略歴

1983年3月	東京大学文学部第1類哲学専修課程卒業
1986年3月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専門課程修士課程修了
1988年3月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程退学
1988年4月	東京大学文学部助手
1992年4月	立命館大学文学部助教授
2001年4月	立命館大学文学部教授
2003年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2009年9月	東京大学より博士（文学）の学位を取得
2010年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

ドイツ現代哲学、ケアの哲学

b 研究課題

ドイツ現代哲学のなかでも、とりわけフッサール、ディルタイ、ハイデガー等によって展開された現象学・解釈学に関する歴史的・体系的的研究を行っている。これまで積み重ねてきたフッサール研究については、1冊の書物にまとめたものを、2009年11月に公にした。また以上の文献的研究と並行して、現象学的哲学の今後の展開の可能性のひとつとして、「看護」を中心とする「ケア」の営みを現象学の視点から基礎づけ解明する試みも行っている。

c 概要と自己評価

フッサールを中心とする現象学の歴史的・体系的的研究に関しては、フッサール現象学とハイデガー哲学の体系的内実について、ドイツ語、英語、日本語で研究成果を報告した。また、ケアの現象学的哲学的考察に関しては、主としてフッサールとハイデガーの現象学に基づきつつ、ケアという営みの哲学的解明を行うとともに、さらに現場でのケアの営みの方から現象学的考察を立ち上げる試みを行い、論文および口頭発表にて、日本語、英語、ドイツ語で研究成果を公表した。さらに「ケアの現象学」に関しては、その研究成果を看護系ならびに医療系の学会および教育機関等において社会に還元する活動も行った。これらの研究・教育活動は、総じて相当程度の成果をあげることができたと判断される。

d 主要業績

(1) 論文

Tetsuya Sakakibara, „Die Intentionalität der Pflegehandlung“, in: *Phänomenologische Forschungen, Jahrgang 2013, Soziale Erfahrung*, Felix Meiner Verlag, Hamburg, 2014, S. 249-265.

Tetsuya Sakakibara, “A Phenomenological Study on Caring for People with Suicidal Inclinations”, Kwok-ying Lau / Chung-Chi Yu (Eds.), *Border-Crossing. Phenomenology, Interculturality and Interdisciplinarity*, Königshausen & Neumann, Würzburg, 2014, pp. 159-170.

榊原哲也、「〈われと汝〉と〈われわれ〉」、木村敏・野家啓一監修『臨床哲学とは何か—臨床哲学の諸相』、2015.1.

榊原哲也、「クリティカルケアへの現象学的アプローチ」、『日本クリティカルケア看護学会誌』、Vol. 11, No. 1, 2015年、9-15頁

榊原哲也、「フッサールとハイデガー——ケアという事象をめぐる——」、『Heidegger-Forum』、第9号、2015年、112-125頁

榊原哲也、「最初で最後、本当に外線その一回きり——透析ケアの現象学試論」、『哲学雑誌』、第130巻第802号、2015年、75-97頁

榊原哲也「「あなたらしさ」を支える患者指導への現象学的視点」、『腹膜透析 2015』(『腎と透析』第79巻別冊)、2015年、23-25頁

榊原哲也、「透析看護に活かす現象学」、『透析ケア』、第21巻11号(通巻283号)、2015年、80-88頁

(2) 学会発表

国際、Tetsuya Sakakibara, ““I and Thou” in Nishida and Heidegger”, 6th International Conference of P.E.A.CE (Phenomenology for East-Asian Circle) “Kairos and Topos: Phenomenology and the Celebration of Thinking”, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong, China, 2014.5.20

国内、榊原哲也、「クリティカルケアへの現象学的アプローチ」、第10回日本クリティカルケア看護学会学術集会、名古屋国際会議場、2014.5.24

国際、Tetsuya Sakakibara, “Phenomenology of Caring in the Light of Husserl’s Analyses”, International Conference “Phenomenology as a Bridge between Asia and the West: Ethics, Reason, and Culture”, National Sun Yat-sen University, Kaohsiung, Taiwan, 2014.6.14

国内、榊原哲也、「ケアの志向性—ケアの志向性の構造—」、哲学講演会、東北大学大学院文学研究科、2014.7.9

国内、榊原哲也、「「あなたらしさ」を支える患者指導への現象学的視点」、第20回日本腹膜透析医学会学術集会・総会、山形国際ホテル、2014.9.6

国内、榊原哲也、「フッサールとハイデガー——ケアという事象をめぐる——」、ハイデガー・フォーラム第9回大会、東洋大学、2014.9.21

国内、榊原哲也、「ケアすることとケアされること」、第18回北日本看護学会学術集会、東北福祉大学（宮城県仙台市）、2015.8.30

国際、Tetsuya Sakakibara, “Caring bei Husserl und Heidegger”, Internationale Tagung der Deutschen Gesellschaft fuer phänomenologische Forschung “Lebenswelt und Lebensform”, Universitaet Koblenz-Landau, Campus Landau, Germany, 2015.9.11

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

講義、「ケアの現象学——急性疾患と慢性疾患をめぐる——」（医療・介護従事者のための死生学 2014年度夏季セミナー）、東京大学本郷キャンパス、2014.8

講義、「患者をトータルに見るということ——〈ケアの現象学〉の視点から」（医療・介護従事者のための死生学 2015年度夏季セミナー）、東京大学本郷キャンパス、2015.8

非常勤講師、東京慈恵会教務主任養成講習会、「哲学」、2014.7、2015.7

非常勤講師、朝日カルチャーセンター・横浜、「ケアの現象学入門」、2014.8～9; 「1日で学ぶ思想家 フッサール」、2015.7

非常勤講師、首都大学東京大学院人間健康科学研究科、「看護哲学 I、II」、2014.4～2015.3

非常勤講師、日本赤十字看護大学、「哲学と倫理」「生命倫理」、2014.4～2015.3

(2) 学会

哲学会、理事長、2014.4～2016.3

日本哲学会、会計監査、2014.4～2015.6; 理事、2015.6～2016.3

日本現象学会、委員、2014.4～2016.3

実存思想協会、理事、2014.4～2016.3

(3) 委員等

首都大学東京荒川キャンパス研究安全倫理委員会委員、2015.4～2016.3

日本赤十字看護大学研究倫理委員会委員、2015.4～2016.3